

市政方針

20年先を見据えた まちづくり



☎ 政策推進課
☎ (32)6039

第5回市議会定例会で、岩倉市長は平成28年度の市政方針と予算案を説明しました。市政方針では、人口減少と少子高齢化が同時進行する時代において、20年先を見据えたまちづくりの実現に向けた強い決意を表明しました。市政運営に臨むに当たり、基本政策として3項目、重点施策として10項目、主要施策として総合計画に基づいた5つのまちづくりの目標に沿った35項目を掲げました。



いわくら ひろふみ
苦小牧市長 岩倉 博文

私は、3期目の基本テーマとして、「誇れる街 苦小牧へく活気みなぎるふくしのまちづくり」と発信しました。市民みんなで助け合い、支え合う、そんな気持ちで伝わる苦小牧を目指し、ふくしのまちづくりにチャレンジします。また、「ふくし大作戦!!2016」と「つなごう スポーツ大作戦」のコラボレーションによる相乗効果を発揮し、市民と共に盛り上げていきます。

「財政基盤の強化、そして20年先を見据えたまちづくりの実践!」に向けて、効率的な行政運営を行うほか、歳入拡大を目指したさまざまな施策にチャレンジします。

人口減少と少子高齢化が同時進行する今、「warm heart/思いやりのある心」を胸に、大切な「共助」の精神を育み、次の世代へ引き継ぐことが、希望ある未来のまちづくりにつながるものと確信しています。

基本政策

① 財政健全化

市税収入の減少や社会保障費の増大、老朽化した公共施設整備などに対応するため、新たな財政基盤安定化計画により、財政の健全化と将来の財政需要に対応可能な財政基盤の強化に取り組みます。

に基づき、行政費用の抑制と市民サービスの進化にチャレンジします。また、指定管理者制度による適正かつ効率的な施設運営に努めます。さらに、新たな職員配置適正化方針に基づき、効率的な行政を目指します。

③ 市民自治の推進

協働の精神のもと、関係団体とのさらなる連携を進めるほか、若年層への啓発事業に取り組みます。また、まちかどミーティングなどを通じ、多くの市民の声をまちづくりに反映します。

重点施策

▼ 企業誘致

トップセールスによる誘致活動に加え、地域資源を活用した戦略的な誘致活動を展開します。また、水素エネルギー社会の実現に向け、可能性の調査に着手します。さらに、企業サポートの充実を図ります。

▼ 景気・雇用対策

前年度以上の公共事業費を確保する

▼ 観光まちづくり

ほか、地元・中小企業を優先活用し、地域経済を下支えします。また、早期発注や分離分割発注で、経済活力の向上を目指します。さらに、若者や女性などの活躍促進と雇用機会の創出に向けた事業を展開します。

▼ キャップCAP

(まちなか再生総合プロジェクト)

地域経営の視点に立った観光地域づくりを推進するため、地元の魅力強化と地域ブランド力の向上に取り組みます。また、苦小牧市観光振興ビジョンに基づき、観光事業者の支援やインバウンドの誘致、観光案内所の機能充実を進め、交流人口の増大につなげます。

まちづくりに携わる人材育成やネットワーク強化を進めるほか、とまچョップによるPRやご当地キャラクターのイベント誘致に取り組みます。また、賃貸住宅の建設費用補助制度により、まちなかへの住宅の供給を促進します。

② 行政改革

行政改革プラン—NEXT STAGE—